

### 緊迫の高浜原発

# 福井の住職、抗議の行動

## 孫のためにも再稼働反対



断食で再稼働に抗議する中島さん（左端）と支援者ら。16日、大阪市

大阪・関電本店前

関西電力が高浜原発4号機（福井県高浜町）の再稼働を17日も強行しようとする中、福井県の寺の住職が関西電力本店（大阪市北区）前で15日から、再稼働の再検討・断念を求めて抗議の断食をしています。

「じじばかとしても、今年5月に授かった初孫とすべての子どもたちのために、せめてもの贈り物をしてほしい」と語るのは、国宝の本堂や三重塔で

知られる福井県小浜市の明通（みょうつう）寺で住職を務める中島哲演（なかじま・てつえん）さん（75）。

若狭（福井県南西部）一帯に原発が増設されることに抗議して1977年に始めてから5回目の断食ですが、県外では初めて。かつて若狭湾を襲った大津波の調査や安全対策もなく、再稼働を強行する関電を批判しました。

ち、粘り強く再稼働に反対する人たちがいる一方で、「事故が風化しつつあるのを感じる」といいます。「まだどの世論調査でも再稼働反対が多い。関電にブレーキをかけるために、電力消費地の関西の広範な人たちに再稼働反対の声を上げてほしい」と呼びかけました。

東京電力福島第1原発事故から6年がた